

酒田市立松山保育園

施設概要

事業主体：酒田市

施設名称：酒田市立松山保育園

所在地：酒田市字山田 20 番地の 1、17

用途：保育園



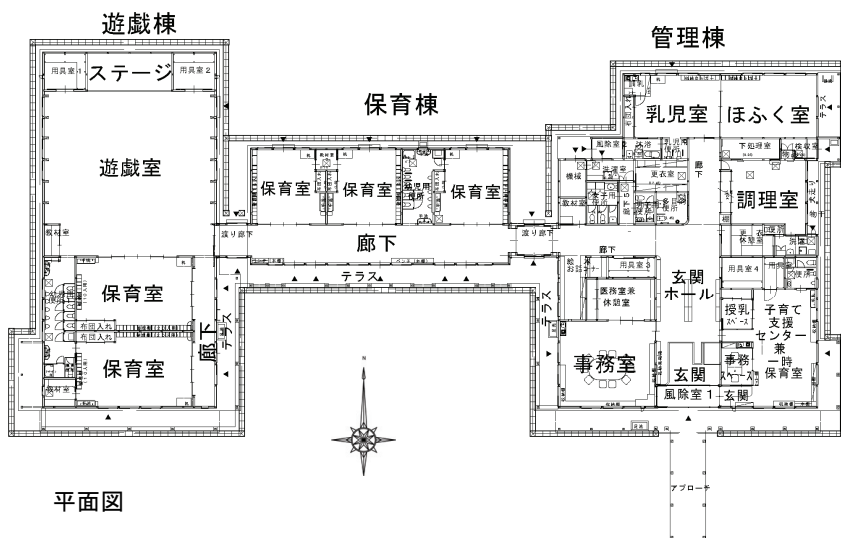
《外観写真》地元産材利用と瓦屋根により周辺景観にも配慮した

●施設の特徴、内容

少子化や多様化する保育ニーズに対応し、地域のにぎわいづくりと交流を促進するため、旧町役場跡地に地域にあった3保育園を統合するカタチで整備された。

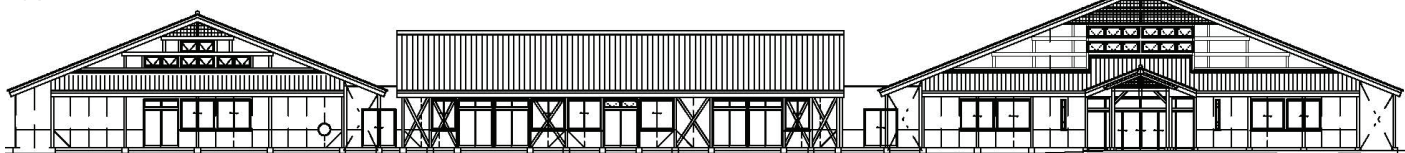
地元産材を多用して、城下町らしい景観にも配慮した木造平屋建てとし、床にはクッション性のある素材を使用したオール電化の床暖房になっており、保育室から広い廊下とベランダで芝の園庭まで段階的に外につないでいる。

併設した子育て支援センターは駐車場近くに設置し専用玄関を設けた。



平面図

南立面図



■建物情報

階数：地上1階

構造：木造（渡り廊下鉄筋コンクリート造）

小屋組方式：和小屋組

敷地面積：6,764 m²

延床面積：1,285 m²

各階床面積：保育・遊戯棟 659. m²、管理棟 583 m²
渡り廊下 8 m²、その他 35 m²

最高軒高：3.879m

最高高さ：7.179m

耐火・準耐火：その他の建築物

■主要仕上

外部仕上

（屋根）：和瓦葺き（渡り廊下ステンレス防水）

（外壁）：防火サイディング（無塗装品） t14 mm 張りの上
特殊模様厚付け仕上塗材

（その他）：柱梁等木部 木材保護着色塗料 2 回塗り

内部仕上

（床）：泡体付塩ビシートスポーツフローア張り t10 mm、t7 mm

（壁）：ビニルクロス張り

（腰壁）：杉羽目板 9 mm または不燃化粧合板 t6 mm 張り

（天井）：化粧石膏ボード t9.5 mm 張り



《小屋組状況》屋根は周辺環境へ配慮し、日本瓦による切妻屋根としている



●外観設計について

地域の住宅計画に沿った外観となるように、伝統工法の小梁組を模したデザインとした。屋根は日本瓦の切妻屋根とし、木組みを見せている。隣接する和風の既設松嶺コミュニティセンター及び道路向かいの松山総合支所と調和がとれ、周辺の街並みとまとまりのある建物を目指した。

《使用木材》



杉 309.0 m³【酒田産木材 115.0 m³】

●木材使用に関する工夫点

保育園は内装制限を受ける施設のため、天井の仕上げ材は化粧石膏ボード張りとしながらも、法令に基づく範囲でできるだけ梁・柱・方杖等を内部に表し、木造の架構が見えるように配慮した。園児が触れる部分の腰壁には木質板材を、園庭に出るテラス部分は床仕上に木材を使用し、木のぬくもりを感じとれるようにした。主要構造材は床暖房採用のため含水率が少なく割れが少ない構造用集成材を使用し、一般材（構造材・仕上材・下地材）については、酒田産杉材の積極的な活用を図った。

●設計における工夫点

隠れ家のような絵本コーナーや、広く取った廊下（約3.3m幅）に絵本棚兼用のベンチを設け、本と自然に触れ合う機会を増やすよう考慮した。また、遊戯室や給食調理室に中の様子をのぞける丸窓を設置し、楽しく過ごせる仕掛けをつくった。



《廊下》幅を広く取り絵本棚兼用のベンチを設けた



《園児用トイレ》



《絵本コーナー》



《遊戯室》

■事業概要

設計者：有限会社 水口建築設計構造事務所
 施工者：（建築）大井・平尾特定建設工事 共同企業体
 （電気）東北電機鉄工 株式会社
 （機械）株式会社 新和設備
 工期：平成21年3月～平成21年12月

設計費： 11,865 千円
 建設費：（建築） 285,600 千円
 （電気） 47,572 千円
 （機械） 60,323 千円
 （合計） 393,495 千円
 1 m²あたりの建設費： 306 千円